

# 視察（研修）報告書

令和2年2月17日

府中市議会議長 様

会派名又は 創生会  
議 員 名

日 時	令和2年2月13日（木）
視察（研修）先	島根県江津市桜江町 「風の国」
視察（研修）項目	観光施設の民間移譲
参 加 者	会派議員5名
視察（研修）内容	<p>1. 風の国 支配人川上様より 園内の施設を案内された後 説明</p> <p>○敷地面積は33haと広大で、次の主要な施設を擁している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・体験工房 紙漉き体験やスーパー竹とんぼを楽しめる。</li><li>・風の舞台 島根県の伝統芸能である石見神楽を観劇できる。</li><li>・屋内テニスコート テニスコート4面、グラウンドゴルフを楽しめる。</li><li>・コテージ 5棟あり、ペット連れで宿泊が可能。</li><li>・グランピングサイト 球体ドームテント宿泊施設を新規に開発。</li><li>・ドッグラン 天然芝の広がるドッグランを新設。</li><li>・本館 客室が16室、レストラン、温泉があり、和室1泊2食付きで1万円。</li></ul> <p>○この施設は、平成4年に竹下総理時代にふるさと創生事業で、旧桜江町温泉を掘ったことに起因する。</p> <p>○事業費は30億円で、過疎債を活用し旧桜江町の負担は実質7億円。</p> <p>○平成16年に江津市と合併し、事業を引き渡す。</p> <p>○指定管理(2,000万円)で運営していたが、赤字が1億円以上に膨らみ民間譲渡を検討。</p>

	<p>○広島経済圏にあることから、広島市の企業に焦点を当て募集し5社から選択。</p> <p>○広島市に本社のある(株)第1ビルサービスに、2019年4月建物のみ4,850万円で売却、土地は賃貸契約10万円/月、広島市から1時間の距離圏にあり地域に密着した施設として再建。</p> <p>○江津市としては、側面から経済的な支援をする予定。</p>
<p>所 感</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の施設として赤字経営となり、行き詰っていたところで民間譲渡を決意されており、民間活力が試される例として注目したい。府中市にも、指定管理料だけで風の国と同じくらいの公園管理をしている「四季の里」施設がある。赤字の垂れ流しである「四季の里」を民間へ譲渡する可能性を探れると思われる。</li> <li>・譲渡先は、(株)第1ビルサービスだが親会社はみどりホールディングスで、2012年に経営不振で低迷していたマリーナホップの再建を手掛け都市型水族館のオープンで来客数を回復させている。こうした経営のノウハウを持った会社だから譲渡先に選んだのだと思える。</li> <li>・譲渡されて1年しか経過してないが、広島から家族や老人会などの組織を呼び寄せ集客力がアップしていると聞く。やはり、民間としてグランビルサイトを新設したり、ドッグランを稼働させるなど柔軟な経営を手掛けていることが功を奏したと考えられる。さらに地ビールやワイナリーの醸造も始めると言われた。</li> <li>・また、周辺地域と広域の観光連携をして浜田市の「アクセス」や石見海浜公園等と連携しながら、地域の特性を生かし集客している。</li> </ul>

# 視察（研修）報告書

令和2年2月17日

府中市議会議長 様

会派名又は  
議員名  
創生会

日 時	令和2年2月14日（金）
視察（研修）先	島根県邑智郡邑南町
視察（研修）項目	日本一の子育て村構想、公共施設等総合管理計画について
参 加 者	会派議員5名
視察（研修）内容	<p>1 日本一の子育て村構想 邑南町地域みらい課課長補佐 田村 哲 氏</p> <p>2 公共施設等総合管理計画について 邑南町管財課課長 小畑 芳明 氏</p> <p>1. 日本一の子育て村構想 邑南町は、子どもへの支援、子育て家庭への支援に重点を置き、町民・地域・行政が一体となって「地域で子育て」をキーワードに事業を展開している。子どもたちを安心して産み育てられる環境の整備や、子育ての経済的負担を軽減する具体策を「日本一の子育て村構想」と名付け、それらの実現により、住み良いまちづくりを目指している。</p> <p><b>【実施事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①子ども医療費の無料化 一般・特定不妊治療費助成</li><li>②産婦健康診査</li><li>③産後ケア事業</li><li>④妊婦歯科検診費用助成</li><li>⑤予防歯科費用助成</li><li>⑥病児保育事業</li><li>⑦放課後児童クラブ</li><li>⑧子育て支援ポイント付与制度 子育てサービスの利用でポイント。貯まったポイント</li></ul>

は、1ポイント=1円として町内のお店で買い物に利用。

⑨保育所完全給食事業

邑南町で出来た米を、全ての保育児童に提供。3歳以上の児童は、米代は町が全額負担。

⑩2子目から「保育料」全額無料

2. 公共施設等総合管理計画について

平成16年の町村合併により、学校を含む公共施設が、小学校9、中学校3、公民館・分館21、球場他11、体育館5、保育所3、プール4、資料館7、図書館1、本庁舎3、診療所3、自治会館26となった。

今後、少子高齢化に伴う人口減少や老朽化、耐震化に伴う大規模改修による財政支出の増大が懸念される。邑南町は、全国の地方公共団体1,797のうち、余剰ハコモノワーストランキングで57位と、住民1人当たりの面積や支出金で換算すると、他の自治体と比較してかなり多い。そのようななか、「将来の世代のために町民みんなで考えよう」をスローガンに、「公共施設総合管理計画」の策定をされた。

(大きな枠組み)

- ・協働のまちづくりの推進
- ・財源確保・歳出構造の見直し
- ・公共施設等の適正管理・有効活用
- ・人材育成・組織の見直し

(進め方)

- ・職員を対象としたアンケートの実施
- ・行財政改善実施計画の項目に沿った提案の分類
- ・職員による検討チーム（関係各課の課長等）の編成
- ・各検討チームでの協議実施

検討が進めば「住民検討委員会」を設置する。最大の対策は「全体のボリュームを減らす」こと。創意工夫として「サービスを落とさず最大限インフラの負担を引き下げる」。キーワードは「地域住民は行政と一緒に地方自治をやっていく対等な関係を持つ大切なパートナー」。

所

感

### 1. 日本一の子育て村構想

子育て支援を地域と一体となり、子育てをしやすい環境となっている。一番印象に残ったのは、やはり子育てに重要な一つとして、医療の充実が安心感を与えている。

公立邑智病院が急性期病院として、常勤医師が揃っている。また、子育てに必須となる、産婦人科・小児科の常勤医師が確立されている。救急体制も24時間365日救急患者の受け入れを行っている。救命救急や高度医療については、ドクターヘリの救急搬送も含め、近隣の浜田市、出雲市、広島市の救命センターや大学などとの連携で対応している。

府中市の医療体制の確立が子育てへの影響が大きいと改めて実感した。

### 2. 公共施設等総合管理計画について

府中市も、公共施設の見直しを現在実施しているところだが、邑南町は、10年間の行政の動きとして、小学校を含めた各公共施設が、地域で本当に必要か、利用状況はどうかなど、行政職員をそれぞれの公共施設に配置し、住民と一緒に検討している。今年が丁度10年目となるため、行政側で各配置職員より施設の利用状況のまとめを行い、見直しをするとのこと。

府中市も、行政自らが各地域の公共施設の実態を把握し、総合的に判断する必要があると感じた。